

2023年6月5日

「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」の開始について ～地域課題解決に向けた米づくりに挑戦します!!～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2023年6月より、農業分野の新たな取組みとして、さいたま市内で米づくりに挑戦する「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」を開始いたします。本プロジェクト開始にあたり、6月6日（火）、豊作祈願および田植えイベントを開催いたしますので、お知らせします。

当行では、農業振興を通じた地域活性化に向け、2008年に専門チームを立ち上げ、農業生産者の販路拡大支援や農産物を利用した新商品開発、異業種からの農業参入支援などに注力してまいりました。このようななか、農業従事者の高齢化や担い手不足、未利用農地の増加といった課題は埼玉県内においても顕在化し、年々深刻度を増しております。

当行では、こうした課題が山積する状況に一石を投じるべく、自らが県内農業の主体的な担い手となっていくことを目指し、本プロジェクトの開始に至りました。米づくりと加工品製造への挑戦で得られるノウハウや知見を蓄積し、磨きをかけていくことで、より実効性ある課題解決策を提供するとともに、こうした解決策を県内全域に水平展開していくことなども標榜してまいります。

当行では今後も、県内農業の持続的発展に貢献する取組みに注力してまいります。

《プロジェクトの概要》

名称	むさしのアグリイノベーションプロジェクト	
活動地	さいたま市見沼区東宮下の田んぼ（約3,000㎡≒約3反）	
取組み (予定)	2023年度からの各年度を「試験運用」「事業化準備」「事業化実現」のフェーズと位置付け、取組みを拡充してまいります。	
	2023年 「試験運用」	・地元生産者と連携した米づくり (埼玉県ブランド米「彩のかがやき」、伊勢神宮の神田で発見された「イセヒカリ」を栽培) ・加工品の試作 など
	2024年 「事業化準備」	・米および加工品の販売、事業化に向けた態勢整備 ・課題解決手法の構築 など
	2025年～ 「事業化実現」	・課題解決手法の水平展開 ・環境配慮型農業などへの挑戦 など

《豊作祈願および田植えイベント》

日時	2023年6月6日（火） 14:10～15:30	
主な参加者	武蔵野銀行 頭取 長堀 和正	2023年度新入行員 86名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・豊作祈願（武蔵一宮氷川神社 権禰宜 遠藤 胤也さま） ・田植えイベント（なお、2023年度新入行員は午前中に埼玉県の農業や米づくりに関する研修を受講し参加します） 	

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 成長分野推進グループ 坂上 浩介、齊藤 倫夫
TEL (048) 641-6111（代表）

以上